

地域生活支援拠点等事業の概要

参考資料3-1

事業の目的

- 障害児者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、障害児者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築する。

整備類型

- 面的整備型
(地域における複数の機関が分担して機能を担う体制)

委託先

- 社会福祉法人あしたば 中野学園

機能

- ①相談 ③自立訓練 ②緊急時受入れ
④人材育成 ⑤地域の体制づくり ⑥見守り
→ 30年度より一部機能について見直すとともに、緊急時の受入れを想定した2室の空床確保をモデル事業として実施

概要

- 地域（緑区）と障害（知的）を限定したスモールスタート
- 緊急性があり見守り等が必要な人に、原則登録制で、電話や自宅訪問、関係先への見回り等の定期的な見守りサービスを実施
- 障害サービス未利用者の緊急時や親亡き後の備えとして、見守り、啓発や体験、障害サービスの利用を勧奨